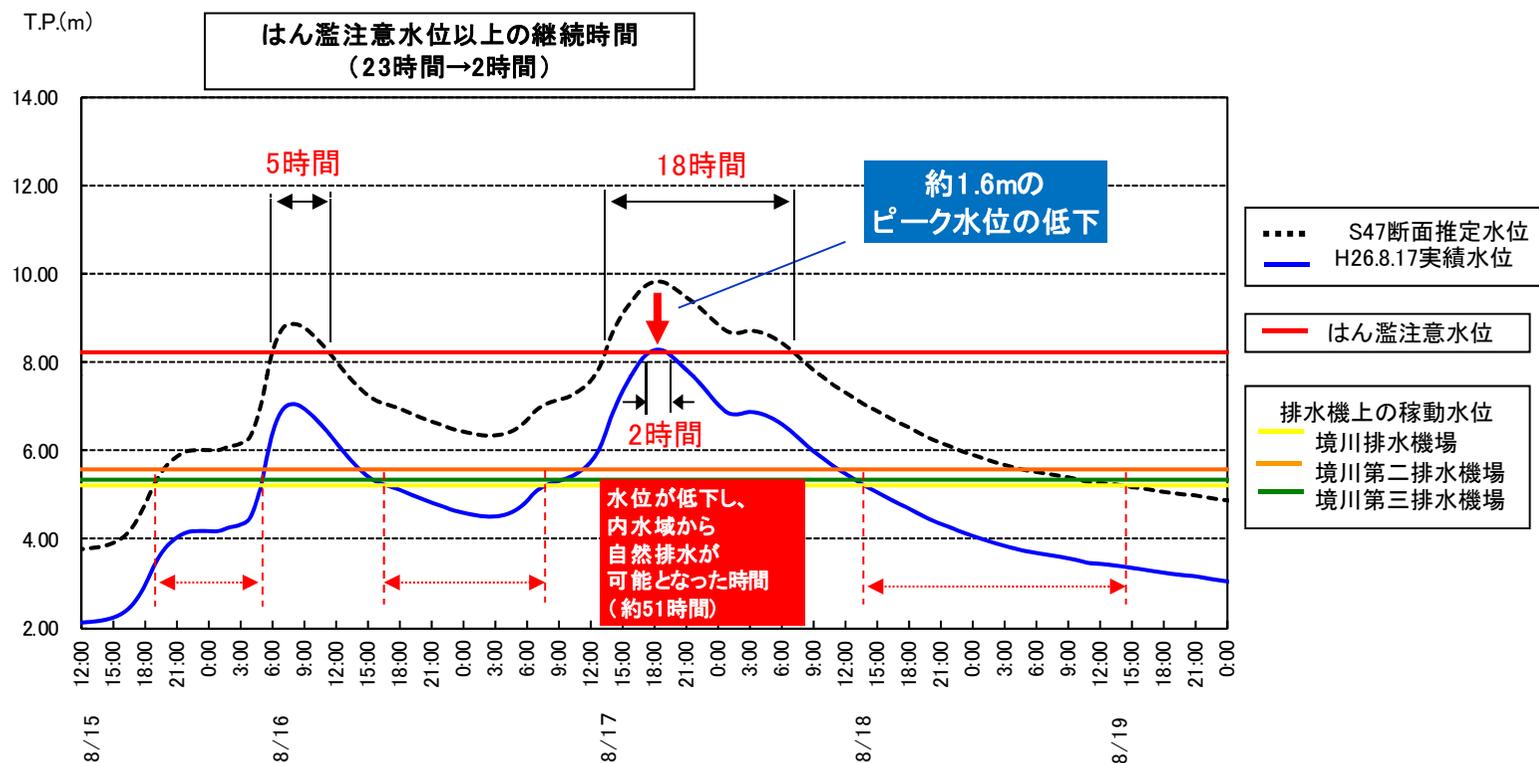


水位低下の効果(水防活動の軽減、内水排除機能の向上)

長良川しゅんせつによる水位低下効果 (平成26年8月17日出水:墨俣地点)

- 出水時のピーク水位が低下するとともに、出水時の高い水位での継続時間が短縮される。
- これにより、支川流域からの内水排水について、排水ポンプ等により強制排水しなくても自然排水できる時間が長くなり、内水排除機能が向上する。
- また、出水時の水防活動の目安となる「はん濫注意水位」以上の水位の継続時間が短縮されることにより、水防活動に伴う労力の軽減が図られている。



年月日	出水要因	墨俣地点 ピーク流量	墨俣地点 ピーク水位 低下量	はん濫注意水位以上の継続時間		
				しゅんせつ 前	しゅんせつ 後	短縮時間
平成10年10月18日	台風10号	約4,300m ³ /s	約1.2m	8時間	4時間	4時間
平成11年9月15日	台風18号	約5,900m ³ /s	約1.1m	25時間	9時間	16時間
平成11年9月22日	前線	約4,400m ³ /s	約1.3m	34時間	11時間	23時間
平成12年9月12日	台風14号	約4,900m ³ /s	約1.2m	15時間	9時間	6時間
平成14年7月10日	台風4号	約4,400m ³ /s	約1.6m	13時間	4時間	9時間
平成16年10月21日	台風23号	約8,000m ³ /s	約2.0m	12時間	8時間	4時間
平成26年8月17日	前線	約4,100m ³ /s	約1.6m	23時間	2時間	21時間

注)「はん濫注意水位」とは、洪水に際し、水防活動の目安となる水位。はん濫注意水位に達し、なお上昇の恐れがある場合、水防団による堤防の巡視など、水防活動を行う。